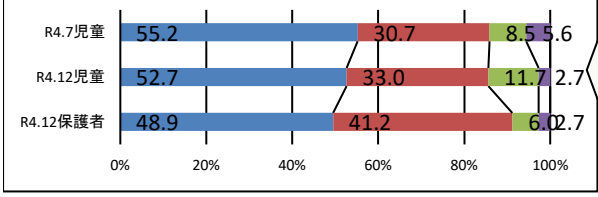
令和４年度　清水小学校の教育　《診断編》

笑顔輝く　日本一の学校

～笑顔で登校、笑顔で下校、子どもの歓声が共鳴する学校

- よく当てはまる
- だいたい当てはまる
- あまり当てはまらない
- ほとんど当てはまらない

Q1. 学校は楽しいですか。（言っていますか。）

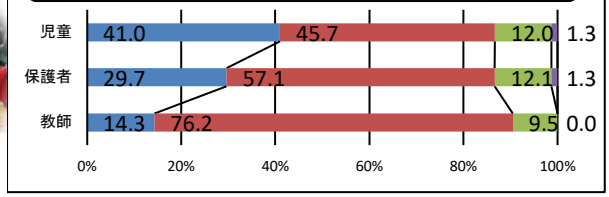


学校は子どもが「楽しい」と思える、安心して登校できる場所でなければならない。アンケートでは、肯定的な回答が７月とほぼ同じ割合ではあるが、「よく当てはまる」と回答した子どもが約３ポイント減少している。今後はより一層、「分かる・楽しい」授業づくりや、教師と子ども、子ども同士の良好な関係を構築した学級づくりを進め、すべての子どもが、「学校は楽しい！」と実感し、笑顔が広がる学校づくりに努めていく。

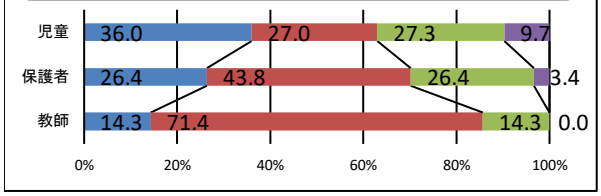
しっかり学ぶ　～かしこく～

［教師の設問］　Q2. 子どもたちが分かる授業づくりをしている。
Q3. 自分の考えを発表する授業づくりをしている。
Q4. 家庭学習が習慣づくようにしている。

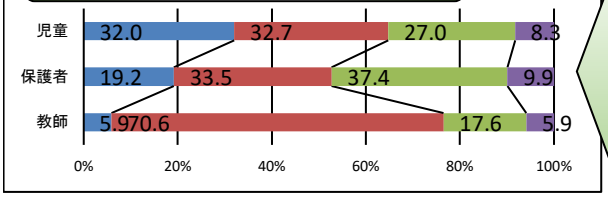
Q2. 学校の勉強はよく分かりますか。（言っていますか。）



Q3. 自分の考えを発表していますか。（言っていますか。）



Q4. 目安の時間、家庭学習をしていますか。

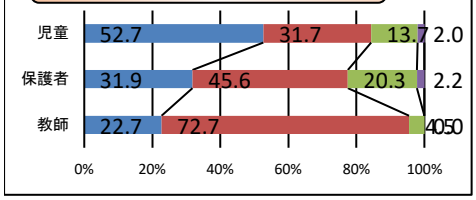


「勉強はよく分かる」の設問で肯定的な回答をした子どもは約 ８７％であった。保護者・教師の肯定的な回答も同程度であったが、「よく当てはまる」と回答した割合は、保護者、教師共に低く、今後、子どもが「分かる喜びを味わえる」授業改善を図っていかなければならない。また、コロナ禍で交流活動に制限がある中、工夫した教師の取り組みにより、「自分の考えを発表している」と回答した子どもは昨年度に比べ改善傾向にある。対話的で深め合う授業の工夫を今後も継続することが必要である。家庭学習の習慣化は、昨年と同様な結果となった。今後も、習慣化に向け、子どもが意欲をもち取り組める工夫や、家庭と連携した取組を図っていく必要がある。

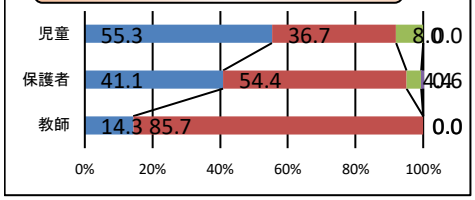
みんな笑顔　～やさしく～

［教師の設問］　Q5. 教師から挨拶し、根付くようにしている。
Q6. 思いやりの心が育むようにしている。
Q7. 読書好きになるように工夫している。

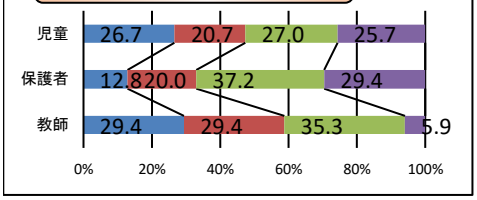
Q5. 誰とでも挨拶をしていますか。



Q6. 誰にでもやさしくしていますか。



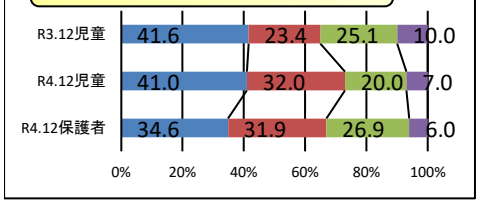
Q7. 家で読書をしていますか。



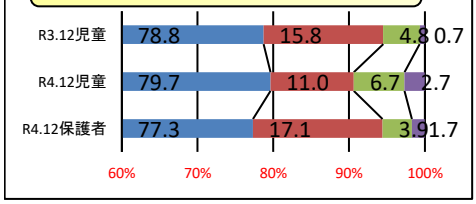
教師が率先して「爽やかな挨拶」を心がけ、挨拶をすることに取り組んできた。学級でも挨拶運動に取り組んだ成果もあり、「挨拶」は、子ども・保護者ともに 80％近くが肯定的な回答をしていた。今後は、誰にでも自然に挨拶ができるような学校を目指していきたい。「家読」は２極化の傾向が今年度も見られる。図書館が改修され読書環境が整備されたことや、ブックフェスティバル等のイベントを活かし、これまで以上に読書に親しむ取組を進め、家庭と連携して「家読」を推奨していく。

ずっと元気　～たくましく～

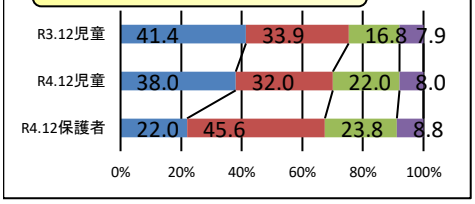
Q8. 早寝・早起きをしていますか。



Q9. 毎日朝ごはんを食べていますか。



Q10. 毎日運動をしていますか。



昨年の同時期のアンケート結果と比較すると、「早寝・早起き」で１０％否定的な回答が増加した。動画視聴やゲームによる生活習慣の乱れが一因と考えられる。「毎日朝ごはん」「毎日運動」も微減になっており、基本的生活習慣が定着していない様子が覗える。心身ともに元気に学校生活を送るためには、健康な体が欠かせない。そのためには、「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめとした望ましい生活習慣を身に付けるとともに、積極的に体を動かす機会を設けるなどの働きかけが必要である。家庭と連携し、取組を進めていく必要がある。